



やさとっ子

●プール開き

6月14日(月)から、水泳の授業が始まりました。先週1週間のうち、天候が悪くて入れなかった学級が2クラスありましたが、あとの学級はすべて入水することができました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策のために水泳の授業が中止となってしまいました。しかし、今年は「感染対策をとったうえで実施」ということで、水泳の授業を行っています。子どもたちも大喜びです。感染対策のため、更衣もプールにある更衣室ではなく、広くゆったりとした少人数教室を使っています。シャワーや入水の際もパンダの距離(ソーシャルディスタンス)をとっています。子どもたちもきちんと目印に従って並んだり、入水したり、泳いだりしています。プールに入ったときの子どもたちは、とても笑顔でした。「いつ入れるの?」と楽しみにしていた子もたくさんいました。水泳の授業の際は、マスクをはずしていますが、話をすることも大変少なく、ルールを守って水泳の授業を受ける子どもたちをみて、先日みえた四日市市のアドバイザーさんからも「八郷の子はすごいね。」と褒めていただきました。さすがです!!

天候の都合で、あと何回入れるかわかりませんが、少しでも水に慣れ、泳げるようになる子が増えるといいなあ…と思っています。しっかりと指導していきます。

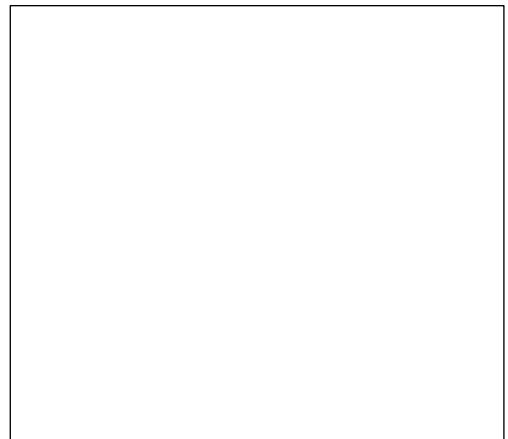


小学校に入ってから、はじめての大きなプールでした。「ぼくたちは、いつ入れるの?」と毎日のように楽しみにしていた1年生でした。プールに入ったときには、笑顔いっぱいでした。

●工事が始まります。ご注意ください。

6月28日(月)~7月2日(金)ごろまで、右記のところで水道工事が行われます。時間は8時30分~17時までです。子どもたちの登校時には工事は始まっていませんが、下校時には工事時間と重なります。子どもたちの安全のために、コーンでバリケードをつくるとともに、交通整理の方に立っていただきます。

学校でも注意を呼びかけましたが、ご家庭でもひとこと、声をかけていただくとありがたいです。



●SNS についてまなぶ (6 年)

6 月 9 日(水)、四日市市青少年育成室の田中さんに来ていただき、6 年生が SNS についてまなびました。6 年生の子どもたちのなかにも、携帯電話やタブレット、ゲーム機器などを通して、日頃から SNS を利用している子もいます。

四日市市の学校でも、SNS 上のトラブルや動画をあげてしまったことによるトラブル等も起こっています。全国では事件に巻き込まれてしまった事例もあります。子どもたちは真剣に話を聞いていました。以下の点について教えていただきました。



【1】ネット依存やゲーム依存は病気です。

ゲームをしていなかったり、携帯を触っていなかったりすると、イライラする、落ち着かない、利用時間を自分でコントロールできない…という状況は「病気」です。2019 年、このような状態があらわれたときについて、WHO(世界保健機関)が「病気」として国際疾病分類に加えました。

「自分の意志で止めることができない…」 「寝る時間が遅くなってしまっている…」 「不安やイライラが積もる」「睡眠不足からご飯が食べられない」などの症状があれば、要注意です。「ご飯を食べていない」ことが、学力にもかなりの影響が出ています。全国学力・学習状況調査の結果からも朝食を食べている子と食べていない子の得点を比べると、食べていない子の点数がかなり低く大きな差が出ました。依存にならないように、ゲームや You Tube の視聴、携帯電話の利用などについては、時間を決めてすることが大切です。

【2】ネット上のトラブル…こんなことが起きています

世界中に公開されています。

店内でふざけていたずらをして、動画をあげてしまった子の人生…。「これくらい大丈夫」「すぐに消すから心配ない」と思っていることはありませんか？ インターネット上に動画や写真を配信することで、トラブルに巻き込まれている被害児童数は過去最多を更新しています。

消せません。

一度アップした写真や書き込みの完全削除は不可能です。「完全匿名」も存在しません。「この写真は「どこ」の「だれ」なのか」「これはだれが書いたのか」はすぐにわかってしまいます。友だちとクラブで撮った写真を匿名でアップした女の子が、突然、中年男性から「〇〇ちゃんだよね～」と言われ、自宅マンションで襲われるという事件もありました。

SNS には危険がいっぱいです。

SNS には、絶対に個人情報を載せてはいけません。ゲーム内でも同じです。誰がみているかわかりません。さらに、絶対に友だちの悪口を書いてはいけません。市内でも、たくさんのトラブルが起きています。大切な友だちをなくすことになりかねません。書き込みは、必ずだれが書いたかが特定されます。SNS 上に悪口を書くことも「いじめ」です。

この SNS 上のトラブルは、6 年生だけでなく、どの子どもたちにも同じことが言えます。以前に比べ、利用する年齢も低下しています。「利用時間を決める」「いのちを守るために個人情報をださない」「人のこころを傷つけない」という基本的なことは、小さいうちから、ぜひ、家庭で話し合ってください。ゲーム依存？携帯依存？という予備軍も市内にはたくさんいます。